記者発表資料

がんばろう！東北

平成３０年１０月２２日
東北地方整備局

# 平成３０年１０月２７日に酒田港で
# 地震・津波防災訓練を実施します

東北地方整備局は、「津波防災の日」（１１月５日）に因み、１０月２７日（土）酒田港において、関係行政機関、災害協定締結団体及び酒田港港湾機能継続協議会など約１００名の参加者により、地震・津波防災訓練を実施します。

本訓練では、津波避難訓練をはじめ酒田港港湾BCP（酒田港港湾機能継続計画）に基づく手順や災害協定に基づく航路啓開手順の確認など、訓練を通じて港湾関係機関との連携の強化と職員の災害対応能力の向上を図ります。

【訓練の概要】

１．訓練日時：平成３０年１０月２７日（土）　９時３０分～１１時３０分

２．訓練実施場所：
酒田港北港地区古湊岸壁（山形県酒田市古湊）（別紙１参照）

３．主催及び訓練参加団体：別紙２参照

４．訓練内容：
（１）初動対応訓練
（２）被害状況把握と優先復旧施設決定訓練
（３）航路啓開・施設応急復旧訓練
（４）緊急物資輸送訓練

５．取材について：
取材をご希望の報道機関の方は、別紙３「取材申込書」により１０月２４日（水）１２時００分までに事前申込みをお願いいたします。

※　会場はSOLAS制限区域内であるため、入場にあたっては本人確認、所属確認等の入出管理が必要ですので、事前申し込みをお願い致します。
※　当日の気象条件等により、訓練を中止する場合があります。
※　取材時は事故・トラブル等が発生しないよう担当者の指示に従っていただくほか安全に充分注意して下さい。

【参考】
〈「津波防災の日」及び「世界津波の日」について〉
平成２３年３月の東日本大震災では甚大な津波被害が発生したことから、同年６月、津波被害から国民の生命、身体及び財産を保護することを目的に「津波対策の推進に関する法律」が制定され、１１月５日を「津波防災の日」とすることが定められました。
平成２７年（２０１５年）12月の国連総会で、11月5日が「世界津波の日」として制定されました。

＜発表記者会　宮城県政記者会　東北電力記者会　東北専門記者会　酒田記者クラブ

【問合せ先】国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課
電話　０２２（７１６）００２４
課長補佐 齋藤　昌宏、課長補佐 川崎　修
国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所
電話　０２３４（３３）６３１１
副所長　工藤　英輝、沿岸防災対策官 類瀬　正美

# 訓練会場位置図

別紙　1


位置図
訓練会場
古湊岸壁
酒田港
最上川
酒田みなと I C
庄内平野
酒田駅
東酒田駅
日本海東
酒田中央 I C
拡大図
【古湊岸壁】
訓練会場及び駐車場
ゲート前で一旦停止。
警備員の指示に従って下さい。
古湊町
高砂（四）
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図（タイル）を複製したものである。【承認番号 平30東複 第23号】

別紙　２

主催及び訓練参加団体

（1）主催

・東北地方整備局、 酒田港湾事務所

（2）関係行政機関

・第二管区海上保安本部、酒田海上保安部

・山形県

・酒田市

（3）災害協定締結団体

・一般社団法人　海洋調査協会

・一般社団法人　港湾技術コンサルタンツ協会

・一般社団法人　日本埋立浚渫協会　東北支部

・一般社団法人　日本海上起重技術協会　東北支部

・一般社団法人　日本潜水協会

・全国浚渫業協会　東日本支部

・全国浚渫業協会　日本海支部

・東北港湾空港建設協会連合会

・一般財団法人　港湾空港総合技術センター　東北支部

（4）関係団体

・酒田港港湾機能継続協議会（酒田港港湾BCP協議会）

・東北港湾空港防災エキスパート会

別紙　3

国土交通省東北地方整備局
　酒田港湾事務所　沿岸防災対策室　　宛

　申込先（FAX）0234－35－2141

# 取 材 申 込 書

取材を希望する場合は、この様式により、FAXにてお申込み下さい。
申込み締切は、10月24日（水）12時00分とさせていただきます。

平成　　年　　月　　日

| 所属記者会（所属する記者会に○をつけて下さい。） |
| --- |
| ・宮城県政記者会　　・東北電力記者会　　・東北専門記者会<br>・酒田記者クラブ |
| **会社名及び部署名** |
| |

| 取材者の氏名・生年月日・連絡先 | | |
| --- | --- | --- |
| 氏名 | 生年月日 | 連絡先 |
| | | |
| | | |
| | | |

上記のとおり、取材を申し込みます。

## 注 意 事 項

1．　会場はSOLAS制限区域内であるため、入場にあたっては本人確認、所属確認等の入出管理が必要ですので、事前申し込みをお願い致します。
　また、SOLAS制限区域内への入退場にあたっては、警備員の指示に従ってください。

2．　事故防止のため、取材にあたっては担当者の指示に従ってくださるようお願いいたします。

3．　会場内に駐車場があります。（別紙1をご覧ください。）

4．　当日受付は午前9時00分より行います。（受付終了は9時25分です。）
　会場テント内の受付にてお願いいたします。

# 平成３０年度　酒田港地震・津波防災訓練概要

１．訓練目的　　本訓練は、大規模地震・津波災害時における港湾機能の早期復旧を確実に行うため、「酒田港港湾ＢＣＰ」に基づき、航路啓開をはじめとした各種訓練を実施し、港湾関係機関との連携強化と職員の防災対応能力の向上を図ることを目的とする。

２．訓練日時　平成３０年１０月２７日（土）　９：３０～１１：３０

３．実施場所　酒田港北港地区古湊岸壁（山形県酒田市古湊）




４．訓練参加団体一覧

（１）主催
- 東北地方整備局、酒田港湾事務所

（２）関係行政機関
- 第二管区海上保安本部、酒田海上保安部
- 山形県
- 酒田市

（３）災害協定締結団体
- 一般社団法人　海洋調査協会
- 一般社団法人　港湾技術コンサルタンツ協会
- 一般社団法人　日本埋立浚渫協会　東北支部
- 一般社団法人　日本海上起重技術協会　東北支部
- 一般社団法人　日本潜水協会
- 全国浚渫業協会　東日本支部
- 全国浚渫業協会　日本海支部
- 東北港湾空港建設協会連合会
- 一般財団法人　港湾空港総合技術センター　東北支部

（４）関係団体
- 酒田港港湾機能継続協議会（酒田港港湾ＢＣＰ協議会）
- 東北港湾空港防災エキスパート会

## ５．訓練内容

（１）訓練での地震・津波想定
①震源地　　：山形県沖
②最大規模　　：マグニチュード７．８(酒田市)
③津波警報の発令：大津波警報
④津波高　　：１３．３ｍ（大浜海岸）


【津波避難】

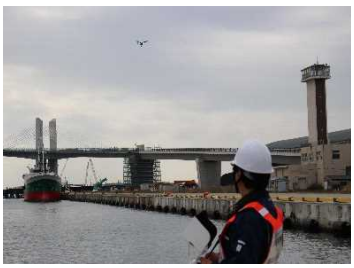
（２）初動対応訓練
・津波避難
・航路状況確認
・被害状況確認と対応方針確認
・山形県から国土交通省への港湾管理要請



【被害状況の報告】

（３）被害状況把握と優先復旧施設決定訓練
・航路障害物調査
・潜水士による航路障害物状況調査
・ドローンによる港湾施設点検
・係留施設点検
・優先復旧施設の決定


【航路障害物状況調査】


【ドローンによる点検】


【係留施設点検】

（４）航路啓開・施設応急復旧訓練
・起重機船による航路障害物の除去
・港湾機能復旧のための関係機関連携確認


【航路啓開】

（５）緊急物資輸送訓練
・緊急物資輸送



【緊急物資輸送】

【地震・津波防災訓練　実施港湾】※平成２６年度より実施
平成２６年　１１月５日　岩手県「釜石港」
平成２７年　１１月５日　宮城県「仙台塩釜港（塩釜港区）」
平成２８年　１１月５日　福島県「小名浜港」
平成２９年　１１月５日　青森県「八戸港」